

第 6 次長野県保健医療計画の進捗状況の評価について

健康福祉部

1 進捗状況の評価の概要

- 第 6 次長野県保健医療計画の進捗状況については、数値目標の達成状況など前年度の状況について、毎年度、確認・評価を実施している。
- 今年度は、平成 25 年度における進捗状況の評価を実施。

(1) 評価の対象

第 6 次長野県保健医療計画に掲げた指標 531 項目

(2) 評価の主体・方法

事業担当課が、平成 25 年度における数値目標の達成状況を定量的に評価し、部内調整を行った上で評価結果を確定。

(3) 評価の観点**① 目安値**

- ・ 「目標 (H29)」と「現状 (H24)」との差の 1/5 の値と「現状 (H24)」の値を足したものを記載。
- ・ 上記に抛り難いものは、「－」又は個々に検討した数値を記載。

② 実績値

- ・ 平成 25 年度末の数値を記載。その際、調査年度が古いものは下段に () 書きで年度を記載 (隔年調査等で数値が把握できないものは、「－」を記載)。

③ 進捗区分

- 指標に掲げた数値目標の達成に向け、実績を定量的に評価
目安値と実績値から進捗率を積算し、以下により評価を実施。

「順調」 : 実績値が進捗率の 10 割以上 (目安値以上) の場合

「概ね順調」 : 実績値が進捗率の 8 割以上の場合

「努力を要する」 : 実績値が進捗率の 8 割未満の場合

「－」 : 実績値が把握できないもの (隔年調査) 等

④ 総合分析及び特記事項

施策区分 (編又は章) ごとに総合的な分析を実施するとともに、進捗区分が「順調」以外の指標は、原則として「指標の状況」や「今後の取組」等を記載。

2 進捗状況評価結果の概要

(1) 計画の進捗状況評価結果

順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
267項目(50.3%)	44項目(8.3%)	126項目(23.7%)	94項目(17.7%)

- 評価の対象とした531項目中、約60%の項目(311項目)について、計画が「順調」又は「概ね順調」に推移していることが認められた。
- 一方、「努力を要する」とされた項目は、約24%(126項目)であった。

(2) 施策区分(編)ごとの評価結果

施策区分(編)	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
① 目指すべき姿(第3編)	2(18.2%)	0(0.0%)	3(27.3%)	6(54.5%)
② 健康づくり(第4編)	78(36.3%)	19(8.8%)	67(31.2%)	51(23.7%)
③ 医療施策(第6編)	43(55.1%)	15(19.2%)	8(10.3%)	12(15.4%)
④ 疾病対策等(第7編)	144(63.4%)	10(4.4%)	48(21.2%)	25(11.0%)
計	267(50.3%)	44(8.3%)	126(23.7%)	94(17.7%)

- 施策区分(編)ごとの進捗状況を見ると、「医療施策」及び「疾病対策等」では、「順調」又は「概ね順調」の項目の割合が高くなっている。
- 「健康づくり」については、「努力を要する」とされた項目の割合が若干高くなっている。

3 施策区分（節・章）ごとの評価結果

(1) 目指すべき姿（第3編）

【総合分析】

- 死亡率については、10.9（H22）から11.6に増加したが、H22比の伸び幅は5.1%と、全国平均の6%よりも低い。
- 平均在院日数は、24.1日（H23）から23.7日に減少。

【代表的な指標】

番号	指標名	現状 (H24)	目標 (H29)	H25	
				目安値	進捗区分
				実績値	
5	死亡率 (人口千対)	10.9 (H22)	減少	10.9	努力を要する
				11.6	
10	平均在院日数 (介護療養病床除く全病床)	24.1日 (H23)	減少	24.1日	順調
				23.7日	

(2) 健康づくり（第4編）

【総合分析】

- 成人期以降の健康状態等を示す指標については目標に達していないものが多い状況。栄養・食生活、身体活動・運動等の分野における課題に対応し、生活習慣病予防の取組を強化するため、健康づくりに取り組む各主体と連携し、健康づくりの県民運動“信州 ACE(エース)プロジェクト”を推進。
- 成人期に歯科医院で定期的歯科検診を受ける者の割合は増加したが、2割と低率のため更なる普及啓発が必要。
- 周産期死亡率や妊産婦死亡率は現状を維持しており、また産後うつ傾向者発生率は減少するなど、妊産婦の健康状態は改善がみられるが、育児について相談相手のいる母親の割合は減少しており、育児支援等の引き続きの取組が必要。

区分	項目	ページ	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
1	栄養・食生活	3	12	10	12	3
2	身体活動・運動	6	8	0	6	6
3	こころの健康	8	7	3	6	3
4	アルコール	10	1	0	3	5
5	歯科保健	10	9	0	5	12
6	たばこ	12	11	1	3	10
7	生活習慣病予防（がんを除く）	15	5	1	7	3
8	すこやか親子21	16	20	2	22	7
9	県民参加の健康づくり	19	5	2	3	2
計			78	19	67	51

【代表的な指標】

番号	指標名	現状 (H24)	目標 (H29)	H25		
				目安値 実績値	進捗区分	
19	成人1人1日当たりの食塩摂取量	11.5g (H22)	9g	10.3g 10.6g	努力を要する	
39	特定給食施設等への巡回指導回数	679件 (H23)	現状維持	679件 608件	概ね順調	
53	1日当たりの平均歩行数 (20～64歳)	男性	8,282歩	9,000歩	8,641歩 7,430歩	努力を要する
		女性	6,966歩 (H22)	8,000歩	7,483歩 6,731歩	
59	ウォーキングコースを設置、整備している市町村数	22市町村	77市町村	33市町村 45市町村	順調	
113	毎年歯科医院で定期的に歯科検診を受ける者の割合(20～60歳代の平均)	9.6% (H22)	増加	9.6% 20.2%	順調	
148	メタボリックシンドロームが強く疑われる者・予備群の割合(40～74歳)	男性	52.7%	40%	46.0% 40.9%	努力を要する
		女性	14.2% (H22)	10%	12.0% 14.4%	
157	自分の血圧値を知っている者の割合(成人)	84.1% (H22)	増加	84.1% 93.0%	順調	
171	周産期死亡率(出産千対)	3.6 (H22)	現状維持	3.6 3.6	順調	
172	妊産婦死亡数	0人 (H22)	現状維持	0人 0人	順調	
175	産後うつ傾向にある者の発生率(EPDS9点以上の者)	10.3% (H23)	減少	10.3% 8.1%	順調	
205	育児について相談相手のいる母親の割合	99.3% (H23)	100%	99.5% 94.9%	努力を要する	
216	健康づくりのために運動や食生活に関する取組を行っている者の割合	運動	66.6%	72.0%	67.6% 64.4%	努力を要する
		食生活	84.5%	維持・向上	84.5% 87.2%	

(3) 医療機能の分化と連携（第6編第1章）

【総合分析】

- 地域連携クリティカルパスの導入状況は、疾病ごとに差がある状況。
- 医薬分業・医薬品等の適正使用については、患者にとっての治療効果向上、副作用防止など最適な薬物療法の提供に貢献するための動きの高まりもあり、薬局数が増加傾向にある。
- 特定機能病院・地域医療支援病院について、地域医療支援病院は、今後、増加の動きも出てきている状況。

区分	項目	ページ	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
1	機能分化と連携	21	3	1	1	0
2	かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及と病診（病病・診診）連携の推進	21	0	0	0	2
3	医薬分業・医薬品等の適正使用	21	2	2	0	0
4	特定機能病院・地域医療支援病院	22	0	1	0	0
計			5	4	1	2

【代表的な指標】

番号	指標名	現状(H24)	目標(H29)	H25	
				目安値 実績値	進捗区分
227	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供機能を有している医療圏数(がん)	6 医療圏	10 医療圏	6.8 医療圏	順調
				10 医療圏	
234	人口10万人当たり薬局数	39.9 箇所	39.9 箇所以上	39.9 箇所	順調
				43.8 箇所	
238	地域医療支援病院がある二次医療圏数	6 医療圏	7 医療圏	6.2 医療圏	概ね順調
				6 医療圏	

(4) 医療従事者の養成・確保（第6編第2章）

【総合分析】

- 医師については、全県の人口 10 万人当たり医療施設従事医師数が増加傾向にあり、概ね順調に推移。ただし、二次医療圏別に見ると、佐久・長野・北信医療圏について減少しているため、引き続き取組の強化が必要。
- 歯科医師数は、病院や介護老人保健施設勤務者、専門性を有する診療科の歯科医師が増加するなど順調に推移。
- 薬剤師数は、人口 10 万人当たり薬局薬剤師数など、全ての指標が順調に推移。
- 看護師数については、人口 10 万人当たりの就業看護師数の指標等が順調に推移。上小、上伊那、木曾医療圏の人口 10 万人当たりの就業看護師数についても指標は増加傾向にあるが、引き続き取組の強化が必要。

区分	項目	ページ	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
1	医師	23	0	2	0	0
2	歯科医師	23	1	1	0	0
3	薬剤師	24	3	0	0	0
4	看護職員	24	1	1	0	0
5	歯科衛生士・歯科技工士	24	2	0	1	0
6	管理栄養士・栄養士	25	0	0	1	0
計			7	4	2	0

【代表的な指標】

番号	指標名	現状 (H24)	目標 (H29)	H25	
				目安値 実績値	進捗区分
239	人口 10 万人当たり医療施設従事医師数（全県）	205.0 人 (H22)	230 人 以上	212.0 人	概ね順調
				211.4 人 (H24)	
241	人口 10 万人当たり病院勤務歯科医師数（全県）	2.7 人	2.7 人 以上	2.7 人	概ね順調
				2.9 人 (H24)	
243	人口 10 万人当たり薬局薬剤師数（免許所有者）	106.2 人	115.0 人 以上	108.7 人	順調
				111.9 人 (H24)	
247	人口 10 万人当たりの就業看護師数	839.0 人	911.4 人 以上	859.7 人	順調
				899.4 人 (H24)	
251	保健医療福祉関係の給食を提供する施設における管理栄養士等配置率	96.7%	100%	97.8%	努力を要する
				95.2%	

(5) 医療施策の充実(第6編第3章)

【総合分析】

- 救急医療については、初期救急・第二次救急・第三次救急いずれの指標も概ね順調に推移。
- 災害医療については、平成25年度より実施している地域医療再生事業（三次分）等の活用や、各医療圏における地域災害医療マニュアルの策定及び訓練実施等の取組が活発化により、指標は概ね順調に推移。
- へき地医療については、指標は概ね順調に推移。なお、平成27年度から、へき地医療拠点病院への補助を拡大予定であり、取組の強化を推進。
- 周産期医療について、指標の推移は概ね順調であるが、産科医及び産婦人科医の維持は図られているものの、必ずしも十分に確保できているとはいえない状況にあり、周産期医療体制の維持・強化に向けては、なお努力を要する。
- 小児医療についても、指標は概ね順調ではあるが、小児科医の負担を軽減し、小児医療提供体制の充実を図ることが必要。
- 在宅医療については、指標は概ね順調に推移。特に、訪問看護ステーションの看護職員数は、既に平成29年の目標値を早くもクリアするなど、順調に推移。
- 歯科医療については、歯科が設置されている病院数や周術期口腔機能管理体制に取り組んでいる地域は順調に増加したが、障がい者を専門に診療する歯科医師が若干名減少しており、歯科医師会等と連携して制度の充実を図る必要あり。

区分	項目	ページ	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
1	救急医療	26	6	1	1	0
2	災害時における医療	26	4	0	1	0
3	へき地の医療	27	1	0	0	3
4	周産期医療	27	7	3	1	0
5	小児医療	28	4	3	1	1
6	在宅医療	29	6	0	0	4
7	歯科医療	30	3	0	1	2
計			31	7	5	10

【代表的な指標】

番号	指標名	現状 (H24)	目標 (H29)	H25	
				目安値	進捗区分
				実績値	
252	救急救命士が常時同乗している救急車の割合（救急隊のうち救命士常時運用隊の比率）	64.3% (H23)	80%以上	66.9%	順調
				72.4% (H24)	
260	地域災害医療マニュアル（指針）を策定した二次医療圏数	6 医療圏	10 医療圏	6.8 医療圏	順調
				9 医療圏	
266	へき地医療拠点病院の医師数	354 人 (H23)	354 人以上	354 人	順調
				393 人	
274	産科医及び産婦人科医の数（人口 10 万人あたり）	8.9 人 (H22)	8.9 人以上	8.9 人	順調
				8.9 人 (H24)	
285	小児医療に係る病院勤務医数	176.1 人 (H20)	176.1 人以上	176.1 人	順調
				215.8 人 (H23)	
292	在宅療養支援診療所・病院・ 歯科診療所数 〈65 歳以上人口 10 万人当たり〉	一般診療所 41.60 か所	一般診療所 46 か所	42.48 か所	順調
				45.11 か所	
				1.61 か所	
				3.17 か所	
300	歯科が設置されている病院数	29 病院 (H22)	29 病院 以上	29 病院	順調
				33 病院	

(6) 医療安全の推進と医療に関する情報化（第 6 編第 4 章）

【総合分析（指標なし）】

- 医療安全の推進については、医療事故等に関する情報提供や医療安全管理研修会の開催などにより、医療安全に係る施策を着実に遂行。
- 医療に関する情報化については、地域医療再生事業の活用等により、医療機関相互の連携体制の構築を推進。

(7) 疾病対策等

【総合分析】

- 一部の指標で目標達成に向け今後の努力を要する項目があるものの、全体としては概ね順調な進捗状況となっており、全体目標であるがんの年齢調整死亡率（75歳未満）も66.1(H25)と目安値を下回り順調に推移。
- 精神疾患対策については、啓発や相談等に係る指標は概ね順調に推移しているが、精神科病院への入院患者の状況は、全国平均（H22 335.4日）を上回っているものの、目標を下回っており、引き続き早期退院に向けた取組を推進する必要がある。
- 感染症対策については、指標の推移は概ね順調であるが、HIV検査や肝炎検査については受診者数が減少しているため、引き続き各種媒体を活用した普及啓発活動等を行い周知が必要。
- 難病対策については、新たな医療費助成の体制整備を図るとともに、関係機関が連携し患者の療養生活環境整備のための取組を強化。

区分	項目	ページ	順調	概ね順調	努力を要する	今年度は実績値の把握が不能
1	がん対策	31	38	2	11	0
2	脳卒中対策	34	14	1	1	2
3	急性心筋梗塞対策	35	14	1	1	2
4	糖尿病対策	36	12	0	0	2
5	精神疾患対策	38	11	0	16	3
6	感染症対策	41	46	2	11	5
7	難病対策	46	4	2	1	2
8	慢性腎臓病（CKD対策）	46	2	2	6	5
9	慢性閉塞性肺疾患（COPD対策）	47	3	0	1	4
計			144	10	48	25

【代表的な指標】

番号	指標名	現状 (H24)	目標 (H29)	H25	
				目安値	進捗区分
				実績値	
305	がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)	69.4 (H23)	60.6	66.4	順調
				66.1	
413	平均在院日数(精神科病院)	長野県 292.5日 全国 335.4日 (H22)	292.5日 以下	292.5日	努力を要する
				305.0日	
465	早期発見のためのHIV検査 受診	保健所 検査件数 2,070件/年 拠点病院 検査件数 705件/年 (H23)	2,070件/年 705件/年	2,070件	努力を要する
				1,971件	
				705件	
				676件	
502	難病相談・支援センター における相談	1,863件 (H23)	1,863件	1,863件	順調
				1,876件	